



515号  
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2  
日港福会館 5階  
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
メール rouren@kensu.jp  
ホームページ http://www.kensu.jp/  
全国検数労働組合連合  
書記局



**第4回 検数労連16夏季一時金交渉 10:00~11:50**  
**有額回答提示 日検：全国平均 457,886円+α**  
**全検：全国一人平均 387,754円+α**  
**労組要求に対し未達となっていることから修正回答を求めた！**

《16夏季一時金有額回答》

**【日検協会】(抜粋)**

1. 支給額  
 (1) 職員・雇員  
 (本給+家族手当) × 乗率 + 都市加算 + α  
 (197,269円 + 8,215円) × 2.03カ月 + 40,753円 + α  
 全国平均 457,886円

(2) 見習員  
 {(本給+家族手当) × 2.03カ月 + 都市加算 + α} × 0.8 × 在籍日数 / 180日

**【全日検】(抜粋)**

1. 支給額  
 (1) 算式 (本給+役付) × 乗率 + 一律 + α  
 職員平均 (202,573円) × 1.31 + 122,383円 + α  
 全国一人平均 387,754円 + α

① 一律	= 職員A	175,000円
	= 職員B	115,000円
② α	= 調整加算	
③ 特別評価	=	5,000円

(2) その他身分

① 見習職員	全国一律	80,000円
② 契約雇員	全国一律	110,000円
③ 準職員	全国一律	80,000円

《第4回交渉》  
 6月27日(月) 第4回検数労連16夏季一時金交渉で、組合は両協会に対し、有額回答の提示を求め、左記の通りの両協会より有額回答の提示がされました。

《日検協会》  
 有額回答にあたり、平成27年度下期は上期に対して微減となったものの全支部で黒字計上となった。しかし、前年度の収益との比較では10%以上の減少となっている。

また、4月の収益も前期より減少していることから先行き不安がある中で、回答構築となった。  
 算式については平成27年度下期の一人当たりの収益率等を勘案しながらも、組合主張にある『安定した一時金』を考慮した回答内容(都市手当満額回答)とした。また、今後、ランク等を検討する余地がある。  
 先ほどの説明にもある通り、収益の落ち込みや先行き不安等ある中で、現回答が一杯であり、これ以上の修正

は困難であることをご理解願いたい。

《全日検》  
 有額回答にあたって、平成27年度の事業収支等を勘案して昨夏をベースに回答構築をした。  
 回答構築にあたっては、今後の経済見通しに懸念される中ではあるが、労組要求を一部踏まえた回答内容となっている。  
 算式については16春闘で職員A・Bの賃金統一がされ

たものの、勤続年数や生涯賃金の差を考慮して一定の格差を付けた。  
 特別評価については勤続日数・職務能力・作業協力度等を考慮して評価していく。  
 今回答については、収支状況、先行き不安がある中で、回答構築であり、これ以上の修正は困難であることを理解願いたい。

《組合主張》  
 組合は両協会の回答を受けてから対角線交渉へ移行。その後、休憩をはさみ両協会の回答を分析し、交渉再開後、次の通りの主張を行い、両協会に対し次回交渉までに修正回答を提示するよう求めました。

《日検協会に対して》  
 ① 都市加算について、労組要求に即した回答になっており一定評価できる。  
 ② 昨夏比マイナスイメージとなっており不満である。

《全日検に対して》  
 ① 昨夏比プラス回答となっており一定評価できる。  
 ② 乗率について、昨夏比プラス0.1ヶ月上積みしており一定評価できる。  
 ③ 『特別評価』については、不要であり、原資の全体配分を求めらる。

《両協会に対して》  
 ① 要求額との関係では未達となっており、上積み修正を求めらる。

**次回交渉 第5回 16夏季一時金交渉 6月29日 14:00~**  
**両協会に修正回答を求めることから、引き続き注目せよ！**